

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はぐみクラブ				公表日	2024 年 12月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・座ってじっくり遊ぶエリアと、思い切り身体を動かせるエリアが分かれていてよい。 ・運動スペースと作業スペースをそれぞれ確保出来るようにしている。 ・動けるスペースと落ち着けるスペースが分かれていて、気分に合わせて選べるところが良いと思う。 ・利用される方の希望（しっかり身体を動かしたい、など）も含め、部屋を変更したりするなど、適宜対応しているところが工夫されていると感じる。 		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・他では少ない1：1での療育をしていることで、子どもへの対応が柔軟にできてよい。 ・児童に合わせた療育ができるように、マンツーマンの個々での対応を大切にしている。 ・利用者にあわせマンツーマンで対応している点が良いと感じます。 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・児童がどう過ごすか理解できるよう、空間をしきょうにしている。 ・視覚的にも伝えられるよう分かりやすい環境作りの工夫がされていると感じます。 ・遊具の数もちょうどよい 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日掃除を行い、スペースを設けている。 ・こまめな清掃、設備の不具合などの確認を毎日行っていると思います。また、日頃の清掃に加えて普段していない部分の定期的な清掃が必要なのではないかと感じます。 ・カラフルで楽しい空間 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・他児とのふれあいが苦手な子を別室で対応したり、入室困難な子はお散歩に行く等臨機応変に対応している。 ・公園に行くなどして、児童と職員だけになり気分転動できるように工夫している。 ・利用者の気持ち、ご家族の要望等に応じて対応しているのではないかと感じます。 		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント時などはとくにPDCAサイクルが機能している。 ・ミーティングで情報共有と今後の対策をしている。 ・定期的な面談や研修など、職員間で意見交換ができる環境にあり、自己研鑽にも繋がっていると思います。 	ヒヤリハットを活用し、予測できる予防策についての洗い出しを行い、改善を行います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け自己評価表以外にも独自で療育内容等に関するアンケートを実施している。 ・情報を共有して改善に取り組んでいる。 ・面談などで得られた保護者等の意向について担当者で話し合いを行い把握することで、改善につなげているところが良いと思います。 		

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・どの立場であっても自由に意見が言える人的環境にある。 ・意見と捉えてもらえるか、文句と捉えられるか、紙一重なところがあり、難しく感じることがあります。 ・定期的に面談等を行い職員の意見を聞いてくださっています。 ・振り返りなどしっかりと話し合いがある 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	7		第三者による外部評価導入を検討していきたいと思っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修は体感できる工夫がされており、いつも楽しく勉強をさせてもらっています。 ・定期的に研修する機会を設けていただいていると感じます。 ・チームワークで協力出来る研修がある 	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1		ホームページにプログラムを公表できるようにすすめていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日評価会議を行い、毎度の療育の振り返りをみんなですべてしている。 ・日頃の様子やご家族との面談等を行うことで、ニーズや課題の把握に努めている点が工夫されていると感じます。 	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・共通理解ができる環境を設けている点が工夫されていると感じます。 	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・評価表に長期、短期目標とともに行動目標を挙げ、支援計画の目標に沿ってかかわることができている。 ・支援前に確認できる工夫をしている ・適切に管理された状態で職員間で共有されていると感じます。 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で話し合いを重ね、必要な項目を考えた上で支援内容を設定していると感じます。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・児童ごとに合わせた療育内容を考え提供している。 ・イベント日を設け、野外活動やグループ活動等でいつもとは違う環境になることで新たな発見があり、違うアプローチができています。 ・トップダウンではなく、職員間で話し合いを重ねている点が工夫されていると感じます。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が保護者の希望などを傾聴し、必要に応じて臨機応変に対応している点が工夫されていると感じます。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝のミーティングにて連携等を行っている点が工夫されていると感じます。 ・引き継ぎが行われている 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・意見を話し合う時間を設けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価会議を行い当日の支援の情報共有を行っています。事情により評価会議ができない場合の対応等（ルールなど）を明確化した方が良いとの意見があり、話し合いを行っています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の支援記録をとり、評価会議を行っている点が良いと感じます。 		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談を行い、利用者やご家族の要望などを受け適宜見直しを行っている点が工夫されていると感じます。 		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10				
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	5			地域の児童発達支援センターとの連携をすすめています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	5			地域の中で他のこどもと活動する機会に関しては、保護者の方の意向を聞きながらすすめています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10					
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4			パパママカフェの開催を行っています。希望に合わせて、開催頻度を多くしたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1			イベント時以外の通常療育でも素敵な物を作って楽しんでもらえるよう工夫されているのに、イベント時の写真のみでは間隔もあいまいしてしまうし、もったいないと思います。もっと通常療育の雰囲気等をInstagramを使って発信しても良いと思います。との意見があり、情報発信を強化していきたいと思っています。

保護者への説明等	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		・伏字の徹底。 ・メモでも伏せ字など扱いは慎重にしている	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8		地域との交流は保護者の方の意見を聞きながら行いたいと思います。 地域住民を招待する等、とは具体的にどういった事なのか分からない。通っていることを隠したい保護者も少なくない中、どのようにして開かれた事業運営を図ればいいのか、行政に例を教えていただきたいとの意見がありました。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1		保護者の方からの情報をもとに対応を行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		安全計画について、より保護者の方へ周知を強化していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	2		マニュアルを完備し、必要な対応は行っているが、身体拘束適正化について常に「これで問題はないか」の意識を持ち、組織全体で取り組む姿勢を持っています。	